

講座のしくみ

はじめの一步は第1段階

知る

第1段階

2015.8/22(土)
～2015.10/25(日)

- 日々の暮らしのなかで、隣近所などの地域の人を気遣ったり、気の合う仲間と「集いの場」などの支え合いの活動を始めたり、自治会や町内会などの住民組織が自ら地域で必要な事業に取り組んだり、地域で繰り広げられる活動や事業には、さまざまな入り口と発展のカタチがあります。
- 関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよいかヒントを得たい、事業化の方法を知りたいという方々を対象に、全国各地の実践報告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっかけとすることを目的とします。

※第1段階は、ご希望の講座を複数受講いただくことができます。

オススメ!

体感する

現場視察

2015.9/26(土)～2015.9/27(日)

- 過疎化が進む、自然や生活条件の厳しい福島県の奥会津にある昭和村(人口1,365人(2015年5月1日現在)、高齢化率53.2%(2010年国勢調査))に、東日本大震災の被災地と共通した課題があります。条件不利地で営まれる住民主体の支え合い活動や、集落支援のしくみを現地で学びます。

※参加要件:第1段階の受講申し込みされた方(H26年度受講者を含む)

「思い」をカタチにしたい人は第2段階へGO!

学ぶ

第2段階

2015.10/31(土)
～2015.12/6(日)

- 第1段階を受講された方で、活動や事業を立ち上げたい方を対象に、地域の課題のを見つけ方や解決方法、活動や事業の立ち上げ方などを、グループワークをとおして学びます。各地で実践するリーダーの体験談やアドバイスを受けて、それぞれの「思い」をカタチにしていけることを目指します。

※各会場30人の定員です。第1段階を1回以上受講された方が対象となります。

考える

第3段階

2015.12/19(土)
～2016.1/24(日)

- 第2段階をもとに、活動や事業を立ち上げる際に役立つ知識を学びます。
- 事業計画書の書き方、プレゼンテーションの方法などを学びます。

※各会場30人の定員です。第2段階を受講された方が対象となります。

集う
つながる

第4段階

2015.9/13(日)
～2016.2/14(日)

- 県域(岩手県、宮城県、福島県)ごとに開催し、第3段階を受講された方が対象となります。受講者それぞれの活動を報告し合い、情報交換するとともに、課題解決や相互交流を図ります。

- ①H26年度講座修了者対象 2015.9/13(日)～2015.9/20(日)
- ②H27年度講座受講生対象 2016.1/31(日)～2016.2/14(日)

第5段階

2016.2/21(日)予定

- 第4段階までを修了された方が3県合同で集い、全国の先駆的实践者との交流などを通じて、さらに知見を広げるとともに、ネットワークづくりを進めます。前日には、同じ会場で開催予定のS-1グランプリ第3回いがす大賞にもぜひご参加ください。

立ち上げ支援講座第1段階 大崎会場

参加申込書

全国コミュニティライフサポートセンター

FAX 022-727-8737

住み慣れた地域で暮らし続けるための支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の立ち上げ支援講座

フリガナ 氏 名				性別	男 ・ 女
住 所	講座に関するお知らせなど、郵送物の送付先 〒 上記住所は、 自宅 ・ 職場 ←いずれかに○印を付けてください。				
連絡先 TEL		FAX			
メールアドレス					
所 属		職名			
現在の活動、 ご希望など	取り組みたいこと、または関心のあることを簡単にお知らせください。 現在活動されている方は、内容を簡単にお知らせください。				

■ 参加申込みをされた方には、講座全体の開催要綱をお送りします。



特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (担当: 橋本・堀切)
宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1 階

●電話からもお申し込みいただけます。

TEL : 022-727-8730

住み慣れた地域で暮らし続けるための

支え合い活動や生きがい仕事、生活支援サービス事業の

立ち上げ支援講座

大崎会場

はじめの一步は、第1段階

ご近所で開く、お茶っ
こ会やサロンの始め方
をお伝えします！

高齢者が生きがいを感じな
がら介護予防にもなる活動
や事業を立ち上げるには？

災害公営住宅で
助け合い活動を
起すにはどうし
たらいい？

「地域創生」「総合事業」を
考えるきっかけがつかめます！

東北地方の支え合い
活動を、たくさん紹
介します。

開催日時 2015年8月23日(日) 13:00~16:30
会場 大崎市古川保健福祉プラザ(多目的ホール)
定員 50人

／ 活動者から学ぶ ／

実践報告

1

うる いんない

宇留院内老人クラブ (秋田県湯沢市)

宇留院内老人クラブでは、自治会館で月1回サロンを開催。「ただ(無料)では…」と遠慮して80歳以上の参加者が少なかったため、1回300円に設定したところ参加が急増。昼食を準備する女性たちは高齢になっても「役割」をもち、昼食を食べるだけの男性たちの「居場所」にもなっている。会館と集落の入り口にある花壇の手入れも楽しく担う。

実践報告

2

ほうきだ

方木田たすけあいの会・ふらーっと茶の間 (福島県福島市)

「話し相手が欲しい」「一人で寂しい」「誰かと食事がしたい」という高齢者の声により、立ち上がった会員制の地域交流サロン。活動開始から10年を経た今では、会員数は100名を超え、毎回30名が参加。赤ちゃんから高齢者まで、障がいの有無も問わない垣根を越えた交流の場としての先駆的な役割を果たしてきた。また、震災以降、避難生活をおくる方々の「心の拠り所」にもなっている。

事業目的

馴染みのある人たちとともに、住み慣れた地域で暮らし続けるために、見守りやサロンなどの「支え合い活動」や、有償の支援サービスや介護保険のサービス、お店や移動販売などの「生活支援サービス事業」を、住民自らが立ち上げ、住民が主役の地域コミュニティづくりを支援することを目的に開催します。

どなたでも受講いただけます。

全講座受講無料

※第2段階の宿泊費・交流会費は、実費をご負担いただきます。

受講締切

受講を希望される第1段階の講座の
開催日 10 日前まで

別紙申込書によるFAX、または電話で
お申し込みください。

※締切が過ぎても定員に満たない場合、申込を受け付けます。主催事務局までお問い合わせください。

主催 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
後援 大崎市・社会福祉法人大崎市社会福祉協議会